

第24回 MasterCardビーチバレージャパン
実施結果について

- 1 開催期日 2010年8月12日(木)～8月15日(日)
- 2 主催 藤沢市、藤沢市教育委員会
(財)日本バレーボール協会、日本ビーチバレー連盟
- 3 主管 藤沢市バレーボール協会
第24回ビーチバレージャパン実行委員会
(財)神奈川県バレーボール協会
神奈川県ビーチバレー連盟
- 4 会場 鵠沼海岸常設ビーチバレーコート
- 5 結果

<ビーチバレージャパン男子>

56チーム(年間シード8チーム・各県代表47チーム・開催地1チーム)

優勝：朝日(フリー)／白鳥(湘南ベルマーレ)

準優勝：井上(フリー)／長谷川(フリー)

3位：西村(WINDS)／仲矢(WINDS)

青木(神奈川県代表)／日高(神奈川県代表)

<ビーチバレージャパン女子>

8チーム(年間シード6チーム・推薦2チーム)

優勝：浦田(フリー)／西堀(フリー)

準優勝：浅尾(エスワン)／草野(エスワン)

3位：尾崎(湘南ベルマーレ)／金田(上越マリンドリーズ)

楠原(フリー)／三木(フリー)

第4回神奈川県中学生ビーチバレー大会実施結果について

- 1 開催期日 2010年8月1日(日)
- 2 主催 藤沢市、藤沢市教育委員会、(財)神奈川県バレーボール協会
第4回神奈川県中学生ビーチバレー大会実行委員会
- 3 主管 藤沢市バレーボール協会
第4回神奈川県中学生ビーチバレー大会実行委員会
- 4 後援・協力 (財)藤沢市みらい創造財団 ほか
- 5 会場 鵠沼海岸常設ビーチバレーコート
- 6 結果
「男子の部」 参加数：20チーム(市内12チーム・市外8チーム)
優勝：御所見A(藤沢市)
準優勝：チームひたむき(藤沢市)
3位：藤沢クラブぼっちょ(藤沢市)
横浜優和クラブJr(横浜市)
「女子の部」 参加数：36チーム(市内10チーム・市外26チーム)
優勝：エダマメ・フュー(藤沢市)
準優勝：手広中(鎌倉市)
3位：明治中2号(藤沢市)
南郷中(葉山町)

6 事業の効果

本大会は平成19年度から始まり、今年で4回目となります。

県内各地から、国内ビーチバレー発祥の地である本市鵠沼海岸に、多くの中学生チームが集結し、澆刺としたプレーが繰り広げられました。

4回目の大会ということもあり、前回、前々回の大会と比較し、出場選手の技術力が飛躍的に向上しており、藤沢市を中心とした、県内におけるビーチバレーの普及・振興が着実に図られていることが実感できました。

中学生という育ち盛りの世代に、本市ならではの自然を生かした環境の中でビーチバレーに親しむことは、子ども達にとって貴重な経験をする良い機会であり、競技スポーツ、レジャースポーツの両側面から、底辺層の発掘・拡大につながる重要な施策と考えております。



第1回湘南カップ全国中学生ビーチバレー大会の実施結果について

- 1 開催期日 2010年8月14日(土)・15日(日)の2日間
- 2 主催 (財)日本バレーボール協会・日本ビーチバレー連盟
藤沢市・藤沢市教育委員会
- 3 主管 (財)神奈川県バレーボール協会・藤沢市バレーボール協会
第1回湘南カップ全国中学生ビーチバレー大会実行委員会
- 4 後援・協力 文部科学省・(財)藤沢市みらい創造財団 ほか
- 5 会場 鵜沼海岸常設ビーチバレーコート
- 6 結果
「男子の部」
参加数：18チーム
(市内8チーム・県内1チーム・県外9チーム)
優勝：チームひたむき(神奈川県藤沢市)
準優勝：藤沢クラブA(神奈川県藤沢市)
3位：羽鳥中学校(神奈川県藤沢市)
春日部中央バレーボールクラブB(埼玉県春日部市)
「女子の部」
参加数：15チーム
(市内3チーム・県内5チーム・県外7チーム)
※当初申し込みは18チーム・うち3チームがメンバーの
インフルエンザ発症により出場辞退。
優勝：南郷大ちゃん5(神奈川県葉山町)
準優勝：茅ヶ崎市立中島中学校(神奈川県茅ヶ崎市)
3位：闘いま湘洋!(神奈川県藤沢市)
姫路市立飾磨西中学校(兵庫県姫路市)

6 事業の効果

本大会は、一昨年、昨年と実施された関東大会を拡大し、全国初の中学生の全国大会として開催したものです。

開会式終了後には特別プログラムとして、アトランタオリンピック、シドニーオリンピックで入賞経験を持つ高橋有紀子氏等を講師に招き、基本となるサーブ、レシーブ、インドアのバレーボールとの相違点等を中心に、出場する中学生のための教室が行われ、ビーチバレー経験の浅いチームにも大会を楽しんでもらえるよう配慮いたしました。

大会は1日目に予選ブロック戦、2日目は決勝トーナメント戦と交流ブロック戦を行い、白熱した試合を経て、男子・女子それぞれ、初代湘南カップ授与チームが決定しました。

開催にあたっては、全国各地のビーチバレーの普及度に格差があることなどから、出場チーム選出が困難な地域もあるなどして、参加募集に苦慮した点はございますが、大会に出場した男子18チーム、女子15チームの中学生選手達と指導者、そして応援に駆けつけた保護者・関係者等にとっては、とても有意義な大会となり、事業の効果が高かったと感じております。

次年度以降も継続して、国内ビーチバレー発祥の地鵜沼海岸で全国大会を開催し、より多くの参加を得るようにつとめ、中学生のビーチバレーの普及、底辺の拡大を積極的にすすめ、「ビーチバレーといえば藤沢市」となるように目指していきたいと考えております。



各地から湘南藤沢を訪れた中学生たち ビーチバレー教室講師：高橋氏を囲んで



男子・女子ともに熱戦が繰り広げられた